

會社側ニ於テハ本月七日重役會議ヲ開キ解雇手當支給額ニ于
シ協議シタルガ結局重役ノ一人ナル倉橋四郎ニ一切ノ責任ヲ
轉嫁シ種々対策考究中ナリシガ爾來再三右倉橋職工代表ト會
見交渉ノ結果職工側ノ強硬ナル主張ニ屈伏セカルヲ得ナイ狀
態トナリ本月十日ノ會見ニ至ルニ四日分ノ解雇手當ヲ支給ス
ルコトトシ即時承認ヲ促シ職工代表ハ一般ニ諾リタル
後回答スル旨ヲ迷バタルヲ以テ職工側態度ヲ軟化セシメ解決
スベク職工ノ懐柔ニ奔走中ナリ

一、勞働者側

職工側ハ態度極メラ強硬ニシテ本月六日以來新行内磯次郎外
四名ノ代表前記會社倉橋重役ト會見交渉シ飽迄要求原案ヲ固
執シテ譲ラズ強硬ニ主張セル結果十日ノ會見ニ於テ會社側ガ
十四日分ノ手當ヲ支給スル旨申出タルハ明ニ工場主ガ吾々ニ
依セルモノナル故飽迄初期ノ要求全部貫徹ニ邁進スベキナルト稍氣勢ヲ揚ゲ更ニ今後ノ対
應方策中ナリ
(三通)報候也

5 11 28

52

勞務第四二三三號

昭和五年十一月二十二日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿
社會局長 官 殿

三辰ガム化學工場勞働者會議ニ関スル件 (再三報リ解決)
既報標記工場閉鎖ニ因ル勞働者會議前報後勞資両三會見交渉ノ
結果本月十四日工場主ヨリ従業員ノ要求通解雇手當十四日分ヲ
支給スルコトニシテ圓滿解決セリ
右及申(通)報候也